

2020年7月21日

NTTアドバンステクノロジー株式会社

NTT-AT、光配線切替ロボットの小型版「ROME mini」を販売開始 ～with コロナ時代のリモートオペレーションの切り札に！～

NTTアドバンステクノロジー株式会社（以下：NTT-AT、本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：木村丈治）は、2019年5月から国内独占販売を行っている米Wave2Wave Solution Corporation（以下：Wave2Wave、本社：カリフォルニア州フリーモント、CEO：David Wang）社製の光配線切替ロボット「ROME」（Robotic Optical Management Engine）シリーズのラインアップを拡充し、中小規模ネットワーク環境向け小型版装置「ROME mini」の販売を開始しました。

NTT-ATは、Wave2Waveおよび輸入商社の伯東株式会社（以下：伯東、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：阿部良二）との3社間で締結した日本国内独占販売契約に基づき、ROMEシリーズを販売していますが、with コロナ時代において、リモートワークの重要性が高まる中、BCP（Business Continuity Plan）対策の切り札として「ROME mini」を市場投入し、リモートオペレーションの実現を支援します。

■背景

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、企業活動においてもテレワークの普及等、移動頻度を極力抑制する業務形態が浸透してきました。第二波、第三波の影響が懸念される中、リモートワークの比重を高める動きが加速しています。

データセンターやネットワーク開発ラボなどのネットワーク環境における物理配線接続作業においても、遠隔作業を可能とする光配線切替ロボット「ROME」の注目度が高まっています。ROMEシリーズは、人手で行っていた装置間の光ケーブル配線切替をロボットにより実現することで、リモートでの物理配線接続を可能とするとともに、配線作業の効率化、ヒューマンエラーの回避、セキュリティ性の向上、配線管理の省力化を実現します。

■「ROME mini」の概要

「ROME mini」は、中小規模ネットワーク環境向けに、小型化、コンパクト化、軽量化、低価格化を実現した製品であり、96芯×96芯のクロスコネクタ容量を有しています。配線接続を行う本体部、光の入出力を行うパッチパネル部、および制御機能部（LCU: Logical Control Unit）を一体化したコンパクトな構造で、ROMEシリーズ主力製品である「ROME500」に対して約1/3のサイズであり、より効率的なスペース活用が可能となります。「ROME mini」を活用することにより、ネットワーク規模に応じたROMEシリーズ製品の使い分けが可能になり、より多様なシーンでのオペレーション効率化を実現します。



【ROME mini 外観(正面)】



【ROME mini 外観(上部)】

項目	仕様
サイズ	筐体サイズ 482 (W) × 311 (H) × 508 (D) mm
	搭載時奥行 508mm
	重量 36kg
電源	電源種類 DC+DC
	LCU入力 -48 Vdc; 8A
	消費電力 50W(スタンバイ時)、150W(スイッチング動作時)
ポート数	East:96ポート、West:96ポート LC UPC Duplex
スイッチング時間	15sec(Typical)
ファイバー	Single Mode SMF-28e、Multi-Mode OM4
光損失量	挿入損失: 最大1.0dB(パッチパネル-パッチパネル間) 最大0.5dB (ROME mini単体)
反射減衰量	Single Mode : -50dB Multi-Mode : -25dB
必要ラックサイズ	Main Chassis: 19インチ、7U
MGMTインタフェース	RJ45(100BASE-TX)、DB9(Console)

【ROME mini スペック一覧】

■販売開始

2020年7月

■販売価格

お客様の所有する機器の数量や設置状態などに合わせて最適なお提案をいたします。提案価格はその都度お見積りさせていただきます。

■今後の展開

NTT-ATは、よりお客様に使いやすい製品とするため、弊社が開発・提供するRPAツール「WinActor®」との連携等によりユーザビリティを向上し、お客様業務のさらなる効率化に貢献することで、ROMEシリーズの魅力を高めてまいります。

【Wave2Wave Solution Corporation 会社概要】

Wave2Wave は、データセンターのケーブル配線を中心に、2003 年にシリコンバレーに設立され、ロボット光スイッチプラットフォームとしての ROME シリーズ製品を 2016 年 2 月にリリースしました。

「ROME」はコネクティビティオートメーションを可能とし、世界中のデータセンターおよび技術研究所に出荷されています。特許取得済みの技術と 10 年以上の経験により、業界をリードする存在です。

【伯東株式会社 会社概要】

伯東は、1953 年の創業以来、主に半導体や機器の輸入を手がけ、最新の情報や最先端の技術をいち早く顧客へ届ける技術商社です。IoT の先端技術を用い、スマートシティの実現に向けた半導体素子、光デバイス、組み込みモジュールを事業基盤としたソリューションを提供しています。

【NTTアドバンステクノロジー株式会社 会社概要】 <https://www.ntt-at.co.jp/>

NTT-ATは、1976年の創立以来、NTTグループの技術的中核企業として、NTT研究所のネットワーク技術、メディア処理技術、日本語処理技術、環境技術、光デバイス、ナノデバイス技術などの多彩な先端技術のみならず、国内国外の先端技術を広く取り入れ、それらを融合してお客様の課題を解決し、お客様にとっての価値を提供し続けています。

※「WinActor」は、NTT アドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。

※本文中に記載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

【一般の方のお問い合わせ先】

NTT アドバンステクノロジー株式会社

グローバル事業本部 光プロダクツビジネスユニット

担当:小関

https://keytech.ntt-at.co.jp/network/index_rome.html

【報道関係のお問い合わせ先】

NTT アドバンステクノロジー株式会社

経営企画部 コーポレート・コミュニケーション部門

担当:加藤・増田

E mail:inquiry@ml.ntt-at.co.jp